

Eternal Tango

Quinteto de Tango “Héctor Del Curto”

タンゴ界に君臨した巨匠オスバルド・ブグリエセ楽団のバンドネオン奏者として活躍したエクトル・デル・クルトがニューヨーク在住のアルゼンチン音楽家たちと結成したタンゴ愛溢れる五重奏団。パワフルにしてダイナミックな演奏でタンゴの豊かな伝統を現代に甦らせます。

エクトル・デル・クルト タンゴ五重奏団

●エクトル・デル・クルト (バンドネオン・音楽監督) Héctor del Curto

ニューヨーク在住。17歳の時に、アルゼンチンで“25歳以下のベスト・バンドネオン奏者”に選ばれ、その後、オスバルド・ブグリエセ率いる伝説のタンゴ楽団でキャリアをつむ。1999年には、その芸術的業績が認められて、イタリア=アメリカン・ネットワークから“Golden Note Award”を受賞。また音楽監督として、世界的に大ヒットしたタンゴショー「フォーエバー・タンゴ」をプロードウェイで演出し、フォーエバー・タンゴ楽団を設立。2003年には、新たに結成した「エターナル・タンゴ・オーケストラ」(現エクトル・デル・クルト・タンゴ・オーケストラ)を率い、リンカーン・センターで幾度となく演奏。ニューヨーク・タイムズは、エクトルに対して“素晴らしい演奏家”と賞賛。また、ブラシド・ドミンゴや、コロンビアの歌姫シャキーラのレコーディングにも参加している。その他にも、アストル・ピアソラやパブロ・シーグレル、“ラテン・ジャズのジャイアント”パキート・デ・リベラなど、多くのアーティスト達と共に演。メトロポリタンオペラ管弦楽団、ブエノスアイレス交響楽団など、有名なオーケストラとも度々共演している。



エクトルのキャリアは、25年以上に渡り、日本にはオスバルド・ブグリエセ楽団で90年代に初来日、2016年には、パブロ・シーグレル五重奏団のソリストとして「東京JAZZ」に出演、2017年9月、自身のグループで東京と福岡で初公演、大評判となった。



●グスタボ・カセナベ (ピアノ) Gustavo Casenave, Piano

ウルグアイ出身。アルゼンチンと並びタンゴを生み育んだウルグアイを代表するピアニスト、作編曲家。1997年からNYに移り住み、バークリー音楽大学を卒業。2012年のラテングラミーでは自身のCD『Tango Casenave』がノミネートされた。現在は、エクトルとともに五重奏団の要のひとりとして活躍する傍ら、ジュリアード音楽院をはじめ全米各地の大学や欧米の音楽院でマスタークラスを担当し、世界中を飛び回っている。タンゴ以外にもこれまで、ヨーヨー・マやベット・ミドラー、ニール・セダカなどと共演している。

●ペドロ・ヒラウド (コントラバス) Pedro Giraudo, Contrabass



アルゼンチン、コルドバ出身。作編曲家。これまでパブロ・シーグレルやパキート・デ・リベラ、ディジー・ガレスピー、ブランフォード・マルサリス等、ジャズやラテンミュージック界の多くの著名音楽家たちと共に演。「タンゴ・コネクション」、「タンゴ・メトロポリス」などのタンゴ・ショー音楽監督を務めた。2016年、「東京JAZZ」への出演、2017年の東京・福岡公演のためエクトルとともに来日。またその他にも度々、来日公演を行っている。



●サミ・メルディニア (ヴァイオリン) Sami Merdinian, Violin

アルゼンチン、コルドバ出身。ジュリアード音楽大学卒。アルゼンチン国立交響楽団、ブエノスアイレス・フィルハーモニーなどで腕を磨いた後、ソリストとしてイタリアやオランダなどで演奏。ニューヨークに移住してからは、カーネギーホールやリンカーン・センター、他でプレイしてきた。2006年より、エクトルのタンゴ五重奏団に加わり、また、並行して自身のカルテット“Sybarite 5”でも活動。タンゴではこれまでレオボルド・フェデリコ、ネストル・マルコニなどのマエストロたちと共に演。

●ジソーリー・オーケ (チェロ) Jisoo Ok, Cello

韓国・ソウル生まれ、ニュージーランド育ち。ジュリアード音楽大学卒。11歳の時からチェロを学びクラシック音楽からタンゴ、ジャズ、現代音楽の世界まで幅広く活躍してきた。ニューヨークに居を構えてからは、パブロ・シーグレル、パキート・デ・リベラ、ロン・カーターなど多くの著名アーティスト達とリンカーン・センターやカーネギーホールなどで共演してきた。現在は、パートナーでもあるエクトルとともに、多くの活動をともにしている。毎年夏にバーモント州で開催されるストー(Stowe)タンゴ・ミュージック国際フェスティバルの創設者であり、エグゼクティブ・ディレクターとして活躍。



ダンスカップル

●ミリアム&レオナルド

Miriam Larici & Leonardo Barriónuevo

2人ともアルゼンチン生まれ。ブエノスアイレスでタンゴを学び、それぞれ“グロリア&エドゥアルド・タンゴ舞踊団”や首都の人気タンゴ・ライブスポットでダンスに磨きをかけた後、2人でカリフォルニア州に移住。

2009年からは多くのTV番組で振り付けを担当、2009年、NBCの「Superstars of Dance」のコンペティションでは見事チャンピオンに輝く。



また、ミリアムは世界的に大ヒットしたタンゴショー「フォーエバータンゴ」の公演ポスターの中央をひとりで飾り、アイコン的象徴となった。さらに、数々のプロードウェイ上演ヒット作品に出演。レオナルドもまた「フォーエバータンゴ」で人気を獲得、ダンサー及び振付家として、多くのタンゴショーを手がけてきた。acrobatiqueなタンゴダンスを得意とし、観衆を魅了し続けている。

●フリエタ&アルバロ

Julieta Cappiello & Alvaro Salas

アルバロは、世界的な大ヒットタンゴショー「フォーエバータンゴ」や「タンゴx2」公演などで世界各国を巡演。ホワイトハウスではオバマ元大統領にダンスを献上、またマドンナにタンゴ舞踊指導するなど輝かしい経歴を持つ。毎年、東京で開催されている「タンゴダンス世界選手権アジア大会」の審査員を歴任し、2013年には、タンゴの本場ブエノスアイレス開催の「タンゴダンス世界選手権」の審査員に選出された。

フリエタは、ブエノスアイレスの音楽の殿堂コロン劇場でクラシックバレエを学んだ後、タンゴダンスに惹かれて技術と表現力を学ぶ。卓越した才能と努力が認められ多くのステージを経験、「タンゴ・デザイア」、「タンゴ・レジェンド」などのヒットショーに出演し、さらに磨きをかけた。

